



研究会・新年会和やかに楽しいひと時を過ごす

北支部 波澄 忠行

毎日が早く過ぎ行く感じで、1月も終わろうとしている27日に美術連盟の研究会及び新年会が中丸コミセンにて行われた。

高橋理事長の挨拶は、昨年度の行事報告、そして今年度の抱負等であった。そして会の幕が開かれる。参加数38名。新会員の紹介等がありお酒も進んだところでゲームとなります。手拭い取り、ミニボーリング、なぞなぞ等で皆さん子供に戻った感じで夢中になるが、点取りゲームも終わり、後は恒例のピンゴゲームで楽しいひと時を過ごして終了する事となりました。

今年も元気で頑張りましょう。ご協力有り難うございました。



手拭い取り さて 勝負! どちらが勝つか?



人物コスチュームデッサン会

仲支部 大道 敏彦

コスチュームデッサン会は、白方コミセンで2月17日に実施されました。10時に、門前さんにモデルさんのポーズを決めてもらい、制作時間の配分等を決めて、デッサン会を開始しました。

当初の参加者は27名でした。晴天に恵まれたことが幸いしたのか、順次、人数が増えて32名になりました。遅れてきた方は、描く場所を探すのに苦労されている場面もありました。昼休みにモデルのKさんに感想を尋ねると、「皆さんが、画作に非常に熱中しておられる事を感じます。」と嬉しい言葉。また、当日は東京への作品搬入のために、不参加のはずだった高橋さんも事情好転により参加され、人物描写の要点等を逐次、指導されていました。午後4時に

なり、モデルの最後のポーズ取りが終わると、参加者全員の拍手が起こり、会は終了しました。



形にくるいがいいが、モデルさんと作品と見比べながら・・・

23年会のネーミングの由来は?

「昭和23年に小学1年生に入学した」ということ。つまり、同級生会ということ。

いつ、どこで開きますか?

平成25年10月13日(日)から19日(土)までの会期中、東海ステーションギャラリーAで開きます。

メンバーはどなたですか?

東海美術連盟の会員で、23年會に当てはまる方です。今のところ、9人のメンバーが確認できています。

絵画展の話は、すぐにまとまりましたか?

これまで、連盟の行事などで、顔を合わせる機会があると「あれッ」というくらい波長が合う感覚がありました。そのうち「あゝ、同じ年令なんだ」と共感を覚えると共に、その人数が意外に多いことに気付きました。やがて、「我々だけで、絵画展を開けたらいいな。」ということになったのです。

そんな時に大震災。暮らしが落ち着いてきた最近、絵画展の話が再び出てきて、すぐに話はまとまりました。

会員の皆さんへのメッセージをどうぞ

絵画展に向けて、各自準備中ですが、でも、会員を十分に捜せてはいないと思います。該当する方がおりましたら、遠慮なく、会員に申し出てください。一人でも多くの皆さんと一緒に開きたいと思っています。



23年會展に出品する皆さん 該当する方お待ちしております!

★新会員紹介

春山 慣二さん

(仲支部)



石神教室での絵の指導を受けています。今回高橋・波澄両先生の的確な指導、生徒の皆さんの手助けにより、美術連盟主催の展覧会やアートロード展に出品ができました。

今後も作品を増やし、出品し続ける考えです。絵を描く時間が楽しみです。



Infomation

子ども芸術祭体験教室・お話の世界を描く
堀川豊彦絵画展V
ギャラリー教室展
美術連盟総会
東光会展
照沼恵子作品展(ノン・ブラック企画)
芸術祭・展示部門
三軌展

3月2日 (中央公民館) 美術連盟アドバイザー数名
3月20日~3月26日 (リコッティ)
3月30日~4月6日 (東海ステーションギャラリーA)
3月31日 (中央公民館研修室)
4月25日~5月10日 (東京都美術館)
5月1日~5月5日 (県民文化センター)
5月12日~6月8日 (東海ステーションギャラリー)
5月15日~5月27日 (国立新美術館)

第25回アートロードステーションギャラリー展終わる

東海ステーションギャラリー展は、絵画・彫刻・華道・工芸の部門で54名、書15名、写真20名の出品で2月23日に終了した。今回の絵画は、ギャラリーAのみの使用のため、小品展となった。小品とは言え各作品とも十分に時間かけて制作され、見応えのある作品が展示された。

一方、25周年を記念して「キッズアートロードフェスティバル」がギャラリーBで開催された。出品内容は小・中学生の絵画20点、華道・工芸部員で23名による巨大オブジェ1点、書道15点、彫刻8点、写真9点であった。今後の子供たちの芸術・創作意欲の育成、文化活動への興味、関心の高揚など、貴重な機会になったのではないかと思います。

(アートロード事務局)

キッズ アートロードフェスティバルのこま



読み聞かせによる、感想画を見る小学生や石膏手型を見入るひと



いばらきねんりん文化祭 (第17回茨城県健康福祉祭)
入選おめでとうございます。
わくわく美術展
2月23日～3月1日 茨城県立県民文化センター

身近な公募展として、多くの会員が関心を寄せている
わくわく美術展。
今回は、入選者が最多の10名を数えました。
おめでとうございます。



悠久の景 佐竹説子



山里の早春 仲田和子



「希望」震災一年目の空 榎井 哲雄



午後のひととき 佐藤 光保



冬の足音 豊島 和久



水辺(七ッ洞公園) 関口 悌吾



夏のひととき 柴 量子



故国への想い 安斎 克一

佐々木幸男さんを悼む

昨年12月に西支部理事の佐々木さんが鬼籍に入られました。5月に実施された、一泊スケッチ旅行の実現に向けて、ご尽力された姿が目に残ります。おかげさまで、私たちに心に残るスケッチ旅行となりました。残雪の北アルプスが見事でした。ご冥福をお祈りいたします。



或る日常 戸波 正男



ひ孫誕生 筒井 恭子